

医療法人 山容会 山容病院

Sanyo Hospital

No. 16-032-2015作成

新築
病院

発注者	医療法人 山容会	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO ₂ 技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB			
設計・監理	戸田建設株式会社一級建築士事務所 TODA CORPORATION	E. リニューアル F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携			
施工	戸田建設株式会社東北支店	I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他				

地域風土に根差した開かれた精神科病院をめざして



建物正面 敷地境界に門扉・フェスは存在しない

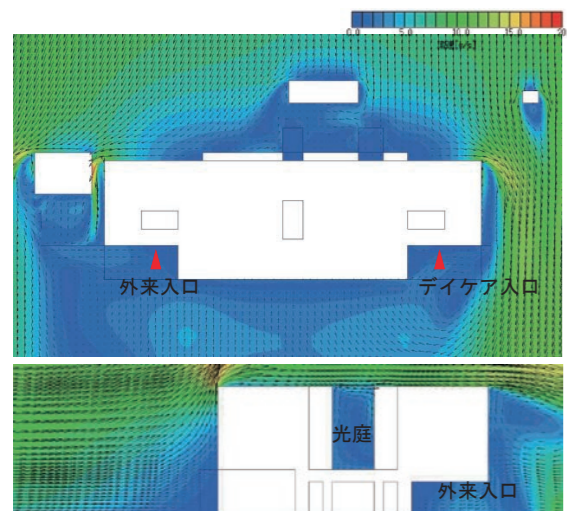
当該敷地は国内有数の米の産地である庄内平野に存在する。位置は日本海に近く、偏西風の影響を真っ向から受ける。そのため、冬季の地吹雪の激しさは語り草となっている。そのような厳しい風土の中にしっかりと根差しながらも、閉鎖的にならず、医療従事者や患者様にとって心理的に開かれた精神科病院を目指した。

地域風景の形象化

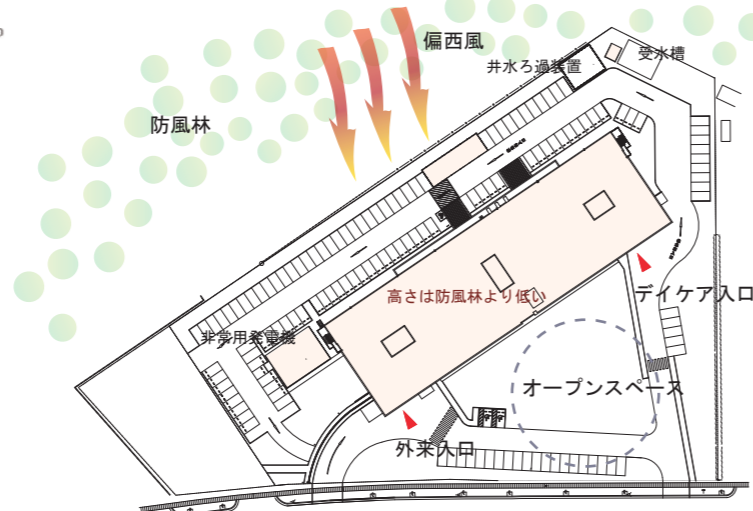
外観は、激しい地吹雪の中でも泰然自若と佇まうよう、均整の取れたファサードとした。シンメトリーと開口部のリズムは整然とし、ゆるぎない安定を与えている。縦のストライプは稲穂、マッスな白のボリュームは白鳥が羽ばたく様をイメージした。いずれもこの地域を象徴する風景であり、それらを形象としてファサードに取り込んだ。

地域固有の厳しい気候条件への対応

建物は偏西風に背を向けて配置させた。建物出入り口はピロティ内とすることで、アプローチの際の積雪・地吹雪の影響を大幅に低減させた。また、建物の高さは敷地周囲の松の木より低くし、江戸時代からこの土地を守ってきた防風林を上手く活用した。



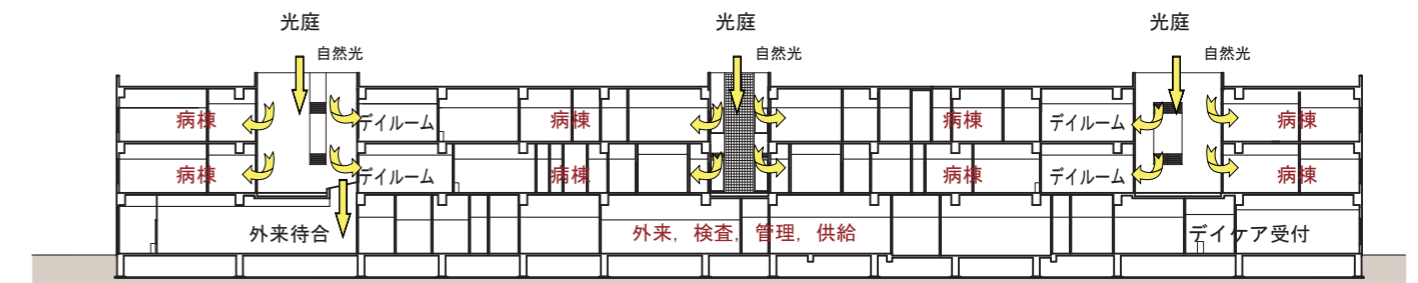
地吹雪シミュレーション



配置図

明るく開放的な精神科病院

1階外来・デイケア部門は常に外部空間が感じられるよう、明るく開かれた空間構成とした。閉鎖的になりがちな2・3階の病棟階には3か所の光庭をとった。病棟の中心となる光庭は、十分な光に溢れ、テーマカラーと相俟って閉塞感のない空間が実現されている。患者様が集う病棟デイルームは、光庭から漏れる光彩により、心理的に開放された空間となっている。



断面図



自然光が取り込まれる外来待合



オープンなデイケア受付



空と自然光を取り込む光庭



明るく開放的な病棟デイルーム

緊急時対応と省エネルギー化

緊急時の病院機能の持続のため、非常用発電機の設置、井水利用を実現させた。また、省エネルギー対応として、複層ガラス・断熱サッシ、LED照明、ヒートポンプ空調機、節水型衛生器具等を採用している。

設計担当者

PM: 岩田直樹/建築: 佐藤良/構造: 神田義人/設備: 黒木富幸、森園直矢/
基本計画: 工藤真人、山田和幸

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性 (非常用電源、井水利用)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (建物高さの抑制、前面道路から距離の取られた建物配置)
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮 (偏西風への対応、開放感のある共用部、光庭による採光)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (複層ガラス、断熱サッシの採用)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (LED照明、ヒートポンプ空調機、節水型衛生器具)
- LR3. 2. 地域環境への配慮 (地域風景への配慮)

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価	
所在地	PAL削減 14 %	Aランク	
竣工年	ERR (CASBEE準拠) 18 %	BEE=2.0	
敷地面積		2010年度版	
延床面積		自己評価	
構造			
階数			